

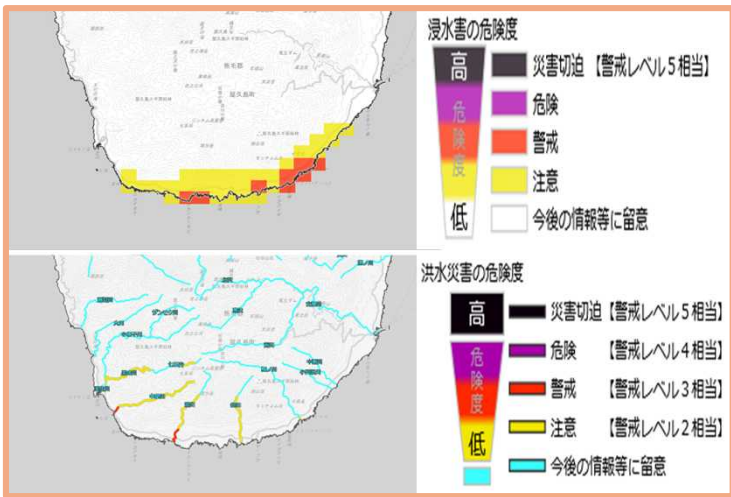
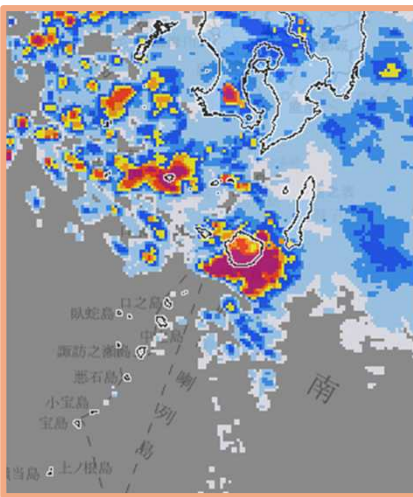
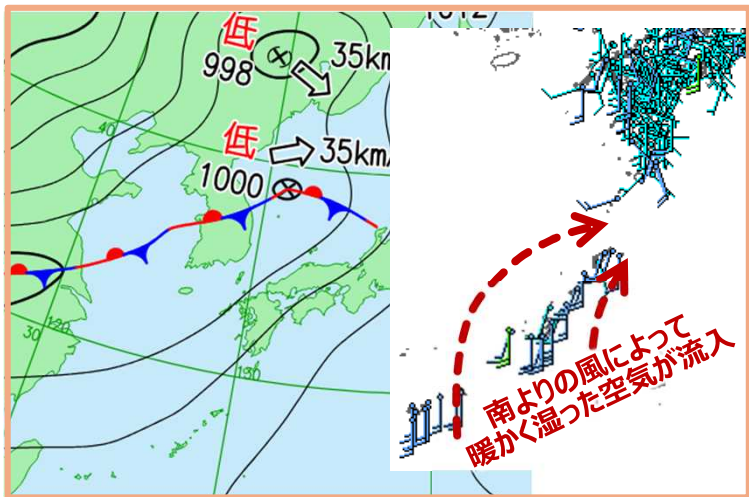
③ 令和7年3月27日の大雨について（天候の振り返り）

- ◆ アメダス尾之間の雨量計では118mm/hを記録、3月の日最大1時間降水量の極値を更新
- ◆ 27日05時29分、屋久島町に急遽、大雨警報(浸水害)、洪水警報を発表

日本海を東進する低気圧から停滞前線が中国大陸までのび、九州付近には日本の南海上の高気圧の周辺を回って暖かく湿った空気が流れ込みが強まり大気の状態が非常に不安定となった。このため、屋久島町を中心に予想を上回る降水量となった。

気象台では、予想以上に雨雲が発達した場合や停滞した場合には、大雨警報発表の可能性があったため、大雨の早期注意情報を【中】とし、大雨による気象災害に十分注意するよう呼びかけた。

気象台が発表した府県気象情報		
落雷と突風に関する鹿児島県（奄美地方を除く）気象情報 第1号		26日11時10分
落雷と突風に関する鹿児島県（奄美地方を除く）気象情報 第2号		27日05時28分
大雨と突風に関する鹿児島県（奄美地方を除く）気象情報 第3号		27日06時17分
大雨と突風に関する鹿児島県（奄美地方を除く）気象情報 第4号		27日10時44分
大雨と突風に関する鹿児島県（奄美地方を除く）気象情報 第5号		27日16時26分
大雨と突風に関する鹿児島県（奄美地方を除く）気象情報 第6号		28日05時21分



3月27日6時地上天気図&5時アメダス風向風速
日本海を東進する低気圧から前線が中国大陸までのび、九州付近には日本の南海上に高気圧の周辺を回って暖かく湿った空気が流れみやすい気圧配置だった。

3月27日5時 雨雲の動き
九州西海上から種子島・屋久島地方にかけて、繰り返し活発な雨雲が発生した。特に、屋久島地方では、急峻な地形の影響が加わって、雨雲が予想以上に発達して猛烈な雨となった。

3月27日5時 浸水害、洪水災害のキキクル
明け方を中心に災害の危険度が高まった。屋久島町調べによると、浸水害（床上1件、床下2件）があった。